

個別研修（水野 里佳）

オーストラリア メルボルン

メルボルンのあるビクトリア州政府教育省にて、現在のオーストラリアの教育制度、特別支援教育に関してヒアリング。

オーストラリアの学校は公立、私立、カソリック系の3つのカテゴリーに大きく分かれ、特別支援学校は現在、ビクトリア州に全部で80校ある。特別支援学校に在籍する90,000人の生徒は何かしらの障害を持っており、90,000人の内、12,000人は特別支援学校へ、78,000人は地域の学校へ通っている。

特別支援学校は、先生が専門的な支援をすることができ、質が保証されている。地域の学校はそれらが難しいこともあり、情報や研修、これらの差をなくしていく必要があるとのこと。

インクルーシブ教育を推進し、その体制を整えているところ、地域での受け入れはチャレンジだという点などは日本と似ているようである。



政府 教育省 建物外観



左： International Relations Unit
Manager の Sophie さん

右： Disability and Additional Needs
Unit Manager の Alan さん

・ Port Philip Specialist School North Melbourne

メルボルン市内 特別支援学校

キンダークラスから18歳まで120名の生徒が在籍する大規模の特別支援学校。広い園庭にジム、プール、ダンス教室、アート教室、音楽教室、ADL室などが完備。

個別研修（水野 里佳）

キンダークラス 2 クラス合計 20 名（4, 5 歳）。6～18 歳までの子どもは学年ではなく 3 学年ごとに区切り、グループとして活動をしている。スタッフは実に幅広い。クラスのメインは一般教員と特別支援教員の 2 名で運営されている。

心理士、ソーシャルワーカー、PT/OT/ST セラピスト、中でもドラマセラピスト(演劇)、音楽セラピスト、Art、ダンス、水泳の専門家など様々な職種が協同している。既存のカリキュラムに加えて、様々な専門家と教師が協力をしてユニークなものを作り出している。



スクール外観



クラスルーム



スケジュールはカード・写真で表示



大きな鏡のある演劇室



Art クラスの教室



音楽クラスの教室



温水プール

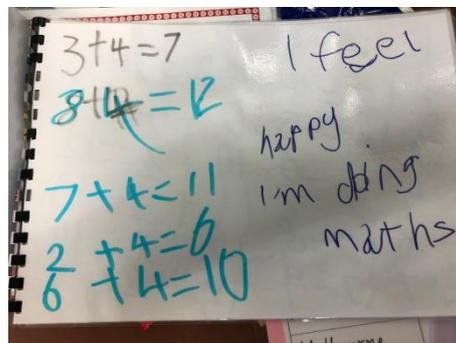
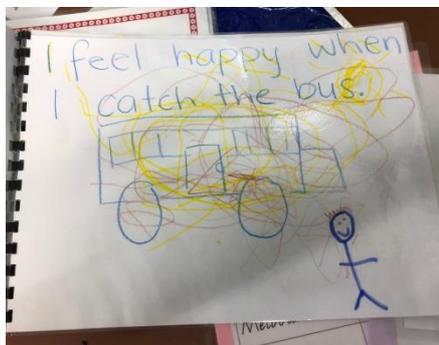


インドアプレイグラウンド

個別研修（水野 里佳）



年齢の高い生徒は、一軒家の造りになっている建物内で自立に向けて料理やベッドメイク、掃除の仕方などを習う。



グループ 8 は 8-10 歳までの生徒のグループで、1 年を通して取り組んでいる絵本「The way Feel」のドラマプレイの練習の様子を見学。音楽が鳴った途端に端にいた子どもが楽しそうにダンスをしたり、パペットを動かして、自信満々にセリフを言う生徒の顔はとても生き生きとしている。

昨年の 9 月からこのプロジェクトはスタートしており、グループの中で練習を重ねてきた。同じ日課を繰り返すことで、生徒はよく覚えていく。時には新しく入ってきた生徒に教えるなどの関係もある。

このドラマプレイを通して「感情」というトピックを基に導入から発展まで、読み書きや数字の概念、感情表現の仕方など既存のカリキュラムとユニークな取り組みとのコラボの学びが生徒のワークシートからも伺えた。



校長先生の Juliet さんと